

事業報告書

1 新型コロナ感染について

前回新型コロナ感染者26名のクラスターが発生。その経験を活かし今回新型コロナ感染オミクロンの感染対策を強化した。感染発生前から発生、収束までフェーズ5の分類を作成。

オミクロン感染者は11名（無症状・軽症）発生したが、施設長判断により感染予防がフェーズに合わせて実施。他の施設情報では感染者の拡大との情報もあったことから、当施設の感染対策は感染が拡大しなかったことから一定の評価ができると思われる。

- ① 横浜市指定による医療機関からの感染者で症状が治まった高齢者の受け入れ施設として3名を受け入れた。
- ② ワクチン接種においては職員・利用者・及び職員の家族等希望者においては、土曜・日曜を返上して施設長、看護、職員が協力をして敏速に対応できた。
- ③ 新型コロナ経口抗ウイルス剤
神奈川県にみなし医療機関としての仮登録を行う。登録により調剤薬局（クオール）よりモルヌピラビル（ラゲブリオ）が1～2名分発注ができる準備をした。

2 ボランティアさん受け入れは令和3年6月より開始した。

3 ご家族直接面会については依然リモート面会としているが、看取りのご家族には感染予防を徹底し10分～15分程度の直接面会を実施している。

4 ベトナム人EPAは第9陣4名と雇用契約を締結した。令和4年9月中旬に施設配属される予定。（EPA17名）ベトナム人寮は定員18名中15名が入居2名は結婚独立で後1名が寮利用可能ではあるが、人件費が拡大するため、第10陣の募集は一時停止とする。

第5陣のベトナム人EPAは2名介護福祉士国家試験合格した。

5 科学的介護情報としてライフが介護保険に増設され、実施した。

6 キャリアパスの構築

令和4年5月に在宅復帰支援型より強化型を申請するために、介護過程の改善を図っている。介護保険法で言うライフを導入と共に施設内の多職種連携による介護過程の育成強化を図り、介護職員のキャリアパスを明確にしていくための訓練を実施した。現在9名のスーパーバイザーとしての訓練実施。

この組織改革により、在宅復帰率に維持・継続の合理性が期待できると思われる。